

【23_025思考系メルマガ】テクニカルで戦うの？ファンダで戦うの？

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今日は、(なるべくそうならないように留意するつもりですが)少々愚痴っぽい内容になるかもしれません(笑)

もちろん、今後の情報収集の観点で意識しておいた方がいいという内容ではあるのですが

いつもよりは雑談テイストな内容になる事だけ、予めご了承ください。

□
■ 「値動きの先を読む」という幻想

先週中盤、日銀の政策金利発表の際にドル円が上下400pips程の大きな値動きをしていたこと
まだ覚えている人も多いと思います。

そんな日でも僕は意に介さず、自分の主戦場であるロンドン初動のポンドル・ポン円しか見ていませんでしたが(笑)

Twitterを見ると、ドル円で勝った人、逆に大きく負けた人、悲喜こもごもと言った感じで

傍から見てみると「相変わらず1回のトレードで一喜一憂やってるんだなあ」と、暗澹たる気持ちで流れてくるタイムラインを眺めていました。

そして、こういう値動きが起こると必ず現れるのが、昨日のメルマガでも書いたような

あたかも先の値動きを予見できる「特別な手法」を教えます、といった

在りもしない、聞いた人を引き付ける甘い言葉だったりするわけです。

▼僕の溜息ツイート(笑)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1615862765809455106?s=20&t=LkUXh0BIp7r728RLPfNrg>

テクニカル分析だけで、右端より先の値動きを確実に先読みできる方法があるのなら

それを知ったみんなが常勝トレーダーに慣れてしまうはずだし

逆にファンダメンタル分析でそれができるといふのなら、アナリストは全員トレードで大儲けできてしまうことでしょう。

実際どうですか？そんな人いませんよね？僕も見ただけありません。

僕自身、ご縁あってファンドで現役のベテラントレーダーからアドバイスを貰ったりする事がありますが

「先読みできるなんて99%ウソ。先が分からない前提で、自分のトレードにルールと一貫性を持たせるしかないよ」

というのが、共通見解です。

その一貫性を、不確実な相場の中で保つには訓練が必要だから、最初はトレードが凄く難しいものに感じるし

それを克服するための検証・テストを伴う練習が欠かせないわけです。

べつに、僕がテクニカル分析を軸にしてトレードしているからといって

ファンダメンタル分析が使えないなどと言うつもりは毛頭ありません。

ただ、それに絡めた質問を僕にされても、僕自身はそれを検証した実績も無いのでアドバイスはできません。

少なくともハッキリ言えるのは

テクニカル分析とファンダメンタル分析というのは、分析のアプローチが違うので混ぜて考えては混乱してしまうということと

どちらのやり方であっても、それで先の値動きを正確に予知・予見する事はできないということです。

どちらのやり方でアプローチするにしても、自分が分析する判断材料と、その判断に至るまでの考えのスキームを常に一貫させて考えなくては

毎回その日の状況によって異なる判断を下すことになってしまいます。

それでは本来一貫した『確率論的思考』で行うはずのトレードなのに、毎回振るサイコロの種類が変わってしまい

勝ち負けの確率がコロコロ変わり、いつまでも収支が安定しなくなります。

例えば当時は日銀の発言を受けて、一時期円安に振れたと思ったら全戻しの円高でした。

結果は確かに見たとおりの内容です。

ですが、それを「なぜ」と考えたところで、その先にはまた不確実な値動きが潜んでいるだけで起こった結果を論じたところで次には繋がりません。

それよりも、その値動きに対して、普段対応している自分の『型』が適合する(対応してトレードが出来る)のか？

僕らが次に活かせるのは、この視点で相場を考える事しかありません。

人はどうしても「安心・確実」を欲するから、それが出来そうな分析手法に気を取られてしまいがちですが

そこから脱却して考え方を変えることが、自分の望まぬ現状を打破する一番の近道であると思います。